天地人

練馬区立上石神井中学校
第二学年 学年便り【第５号】
令和８年５月１９日 発行

～ 天の時 地の利 人の和 ～

「考動」～雪辱を晴らす～

これは、修学旅行班長会のスローガンです。係会のスローガンに「雪辱を晴らす」という言葉は見たことがありませんが、リーダーたちの並々ならぬ覚悟を感じます。ここでいう雪辱というのは、イングリッシュキャンプとスキー移動教室で起きたできごとを指しています。みんなで力を合わせて臨んだにも関わらず、ルールやマナーを守ることができず、学年として大きな課題が残る行事となりました。これだけの集団で一つのものを作り上げるには、みんなが少しずつどこかで我慢をして、努力をするから、充実感や達成感を味わうことができる。これが、集団生活における本当の意味での「楽しさ」だと思います。さて、今回の修学旅行はどうだったでしょうか。おそらく、ほとんどの生徒が「充実感」や「達成感」に包まれたことと思います。それは、同じ時間を過ごした教員も同じです。３年かかりましたが、やっと、みんなで心から「はー、疲れたー。でも、楽しかったね」と言える行事になったと思います。

たっくさんのできごとや思い出があった今回の長崎修学旅行。全て紹介したいところですが、なかなか難しいです。ただ、できる限りここでみんなの頑張りや楽しい時間をお伝えしたいと思います。

係活動編

班長・室長会

「気合い十分」で臨んだ修学旅行でした。二年生の都内巡りやスキー移動教室で班長や室長をしていた生徒がほとんどでした。もちろん、今回このような役割が初めてという人もいます。その新メンバーも含め、本当によく頑張っていました。点呼・班員への声かけ・時間の管理…。夜の班長・室長会での大事な連絡事項も、しっかりとみんなに伝えてスムーズな生活ができていました。初めての地である長崎での班行動。最後、必死の形相で班員を引き連れて宿舎に戻ってきた姿は、まさに“勇者”でした。班長・室長あっての修学旅行の成功でした✨

コース係

当日を迎えるまでに、時間をかけて一生懸命コースを考えていました。乗りなれないバスの時間を調べたり、見学場所の時間調整をしたりと、事前に万全の準備をしてくれました。そして迎えた当日…。「都内巡りよりも簡単」とこちらも高をくくっていましたが、大きな間違いでした。その一つの理由が、“バス移動”だったことです。バスの本数が少なかったり、バス停の位置がわかりにくかったりと、右往左往しながら次のバスを探し、予定したバスが目の前を通り過ぎてバス停３つ分も走って追いかけた班あったそうです。現地で本部携帯が鳴りやまない様子からも、コース係の苦労がうかがえました。でも、何よりもうまくいかなかった時に「みんなで協力して対応」できたのは、コース係の頑張りがあったからこそでした。

会計係

今回はとても複雑な会計の計算でした。見学場所によって割引が適用されるところとされないところ。移動手段がバスと路面電車があること。お小遣いの額も今までより多く、計算する金

額が今までよりも大きいことなど、とても大変な係の作業だったと思います。前日まで班員とお金の確認をしている班もありました。よく頑張りました。

保健・美化係

修学旅行へ行く前、そして修学旅行中も、保健係が班員の健康観察表を回収して提出するという役割を担っていました。それがあったから私たちが生徒の健康状態を把握し、事前に声をかけたり気にしたりすることができました。とても単純な作業ですが、それだけ重要な仕事でした。また、部屋がイングリッシュキャンプやスキー移動教室の時よりもきれいに整頓されていたのも、美化係の声がけのおかげです。見えない小さな仕事にこそ、今回の修学旅行の成功があったと思います。見えないその働きに、感謝です。

学習・記録係

事前学習で積み重ねたことを現地で実際に見て、学びを深めました。学んだことは、学校に戻ってきてまとめ、周囲に発信します。現地で学習したことを目に見える形で残すのが、記録係の仕事です。３日間、自分が色々なものを見ながらもみんなが学習した記録を何十枚と残していました。宿舎に戻ってきたら撮った写真を整理してまた次の日に臨む。フォトコンテストの写真も意識していたようで、少しでもきれいに撮れる構図を考えて工夫していました。できあがった写真が、楽しみです。

ここで紹介したのは、行動班の係です。宿舎では、食事係が大皿に盛られた料理を一人一人にきれいに配膳していました。また、入浴係は決められた時間内でみんなが入浴を済ませられるように、またきれいに浴場を使うようにしっかり声をかけていました。それぞれの小さな役割を果たして、一つの大きな行事が形となりました👏



【 食事係がみんなの食事を準備中 】



【 荷物の積み込みを手伝ってくれています 】

次は…

修学旅行にまっしぐらだった５月中旬までの取り組みですが、帰ってきてすぐに運動会の練習です。きっと生徒の頭と心はまだ修学旅行が残っており、でも体はバトンパスの練習をしている…という状況でしょうか。６月には定期考査があります。先を見据えながらも、“一つ一つ”目の前のことに取り組みましょう。



【 バトンパスの練習 】